

VI. 建築物特定事業
9) 東京芸術劇場

基本構想の実施時期凡例

短期	2年以内(2020年度まで)に実施する
中期	5年以内に実施する
長期	関係者との協議・調整により、十分な事業内容の検討が必要機会をみて整備を検討する
継続	時期を問わず、事業期間を通して継続的に取り組む

特定事業計画の具体的な実施期間凡例

予定実施期間	継続的に実施するもの(期間全体を塗りつぶす)
実施時期未定 (進捗管理の中で、実施時期が定まった段階で設定する)	

訂正資料


基本構想 ページ	61
-------------	----

対象施設	東京芸術劇場	事業主体	東京都 施設管理者
------	--------	------	-----------

基本構想(H31.4)で定めた事項(変更不可)					特定事業計画											R4年末 実施状況	R3年度末 実施状況	特記事項 (実施に向けた課題・現在の状況・変更点等)				
No	項目	特定事業	基本構想で定めた実施時期				事業の具体的な内容 (場所・規模・数量・方法等)	具体的な実施期間														
			短期	中期	長期	継続		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10~					
①	サイン等の案内誘導	誘導ブロックや音声、点字によるトイレへの位置案内の導入を検討する。		●			H30年度に未整備の点字誘導板を整備済み。													完了	完了	地下鉄連絡通路～エレベーター乗り場間
②	サイン等の案内誘導	文字情報システムを活用した適切な情報提供を行う。				●	サイネージを利用した文字情報システムを活用した情報提供を行う。													継続実施	継続実施	
③	サイン等の案内誘導	点字表示のある手すりや音声案内装置の設置による目的地への適切な誘導に務める。		●			R1年度に点字案内板を地下鉄連絡口、正面玄関、5階広場の3か所に設置する。													完了	完了	
④	垂直移動設備	誰もが安全で利用しやすい構造(ガラス窓等)への更新を検討する。				●	非常時聴覚障がい者対応を含めて将来の改修時に設置を検討する。													未着手	未着手	今後の大規模改修時に利便性が高い設備への改修を検討する。
⑤	トイレ	オストメイト対応設備の設置を検討する。				●	多機能トイレのスペースが狭隘であるため基準に沿った設備を設けることが不可能である(10か所)。将来の改修時に設置を検討する。													未着手	未着手	今後の大規模改修時に利便性が高い設備への改修を検討する。R1年度多機能トイレ内に火災時に聴覚障がい者向けに火災を知らせる光警報設備を設置済み。
⑥	その他の設備	授乳及びオムツ替えのできる場所の維持管理に努める。ベビーベッドやベビーチェアの維持管理に努める。				●	現在1か所ある授乳及びオムツ替えのできる場所について維持管理に努める。													継続実施	継続実施	

特定事業の実施に必要な資金の額及び調達方法

その他、実施に際し配慮すべき事項、特定事業以外に実施する事項、参考写真等

				
①EV⇒連絡通路	①連絡通路⇒EV	②1Fサイネージ	③B1F点字案内板	③1F点字案内板
				
③5F点字案内板	⑥5F授乳室			